

晶析プロセス・装置設計理論の 応用と実践

晶析工程を含む化学プロセスは広く用いられ、晶析装置設計理論を用いた晶析プロセスの設計が多くの場合適用でき、手法として確立されている。本書は、晶析プロセス設計に必要な手法と晶析装置設計理論を明確に分類し、プロセス設計の立場から晶析装置設計理論をレビューした画期的な構成をとっている。

晶析装置理論を活用した工業事例は、出来る限り詳細に説明してあるので、読者諸兄が理論を実践する上での参考になろう。晶析操作における複雑な現象が多々見られるが、多形などを取り上げ工業的事例も収録されている。

本書は、化学工学のエキスパートを目指す多くの研究者や開発者、特に企業で実務を担当している（あるいはしていた）若手技術者が晶析プロセス設計を修得するのに好適なものである。

著作者：社団法人 日本粉体工業技術協会

監修：晶析分科会コーディネータ 豊倉賢（早稲田大学 名誉教授）

執筆者：青木緑朗（日本化学工業株）、石塚諭（栗田工業株）、上田恭義（鐘鼎化学工業株）、川喜田哲哉（味の素株）、香田隆之（味の素株）、北村光孝（広島大学 助教授）、城石昭弘（富山大学）、上甲勲（栗田工業株）、城道修（メルシャン株）、豊倉賢（早稲田大学）、永井秀忠（味の素株）、長谷川和宏（味の素株）、長谷川正巳（（財）塩事業センター）、南慶太（味の素株）、福土博司（味の素株）、八木晋介（日産化学工業株）、山崎浩（藤沢薬品工業株）、山崎康夫（日本化学工業株）、

- 目次 -

序文 晶析分科会の活動と工業晶析の展望	5. 晶析操作における多形制御
1. 晶析プロセス設計と晶析装置設計理論	6. 医薬品製造における晶析現象
174 設計線図の成り立ちについての 2、3 の考察	7. 医薬品原料リジン誘導体の反応 - 晶析分離プロセス
2. 製塩工業における晶析技術	8. 抗生物質セフspan合成中間体の結晶 多形移転について
3. アミノ酸製造工程での晶析装置設計理論による検討と効果	9. 肥料・無機薬品工業における晶析技術
4. 工業晶析装置のスケールアップについて	10. 廃液処理プロセスにおける晶析技術
174 晶析理論の操作設計への展開	

本体価格 : 4,000 円 + 200 円(消費税)	出版社 : 株式会社化学工業社
B5 版 170 頁	東京都港区元赤坂 1 - 5 - 1 1
発行日 : 2001 年 12 月 25 日	TEL 03(3405)9767
	FAX 03(3405)9769

「晶析プロセス・装置設計理論の応用と実践」 購入申込書					
会社名					
所在地	〒				
電話番号			FAX 番号		
所属					
氏名			e-mail		
冊数	冊	お支払方法	銀行振込	現金書留	
販売価格 該当する 箇所に チェックして ください。	区分		本体価格	消費税	税込価格
	<input type="checkbox"/>	一般購入の場合	4,000 円	200 円	4,200 円
	<input type="checkbox"/>	著者割引 著者名 ()	3,600 円	180 円	3,780 円
	<input type="checkbox"/>	晶析分科会 コーディネータ・幹事紹介割引 紹介者名 ()	3,600 円	180 円	3,780 円

購入申込書に、必要事項をご記入の上、ファクシミリにて出版社宛にお送りください。